

第50回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会【ビデオ審査会】
 マーチングバンド部門 審査内容
 高等学校の部・一般の部

2021年11月7日(日)

音楽と視覚の調和

○作品の全体的調和

ショー全体のコーディネーションを音楽的な要素と視覚的な要素との結びつきをふまえて総合的に判断する。

- ・ コーディネーション
 ショーの流れに「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」や「起承転結」を感じさせる変化があるか。
 また、無理のない流れがあるか。
 クライマックスが表現されているか。
 各セクションの組合せに調和や変化を感じさせるか。
- ・ 音楽と視覚の調和
 音楽と視覚が調和されているか。
- ・ 独創性と多様性
 作品が独創性に優れ、なおかつ多様性に富んでいるか。

○作品の解釈と表現

ショー全体の解釈と表現を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて総合的に判断する。

- ・ 表現の幅と質
 作品が意図するところを理解し強弱や緩急、喜怒哀楽などの表現に幅があるか。
 また、それらを高めようとしているか。
- ・ ミュージシャンシップとショーマンシップ
 観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。
 また、観客とのコミュニケーション(伝達)が良好か。
- ・ 完成度
 内容を把握し、ミスやエラーのない演奏・演技になっているか。
 表現の幅と質が作品の意図するところを理解し強弱や緩急、喜怒哀楽などの表現が完成されているか。

段階1 (BOX 1) 努力を要す 60未満	段階2 (BOX 2) ふつう 60～69	段階3 (BOX 3) 良好 70～79	段階4 (BOX 4) 優良 80～89	段階5 (BOX 5) 優秀 90～100	
------------------------------	-----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------------	--

音楽と視覚の調和 審査基準（クライテリア）

	作品の全体的調和	作品の解釈と表現
段階5	<ul style="list-style-type: none"> 作品全体において調整は行き届いており、違和感はほとんど無い。 作品全体の構成、処理は、バラエティーに富んでおり、部分的な処理にも多様性が感じられる。 色彩的にも豊かであり、かつ音楽との整合性もあり効果的である。 場面ごとに多くの、聴かせ所や見せ場があり、それらが大変うまく強調されており、非常に効果的である。 作品全体を通して常に平均的なレベル以上の効果が生み出されており、長い時間観客を引き付ける事に成功している場面が多々ある。 ほとんどの場面で、解釈、処理は独創的かつ高度であり、それらが効果に密接に結びついている。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏・演技者による作品の理解は充分かつ高度で、観客とのコミュニケーションは常に円滑で密度も高く行われている。 ほとんどの場面で演奏・演技者の集中力は常に深く継続しており、観客は作品の意図を充分理解し楽しむ事が出来る。 演奏・演技者による感情表現は幅広く、質的にもバラエティー豊かに現われ、観客を度々魅了し感動させる。 ほとんどの場面で演奏・演技者のミュージシャンシップやショーシップは常に強く発揮され、観客が感動する場面が度々ある。
段階4	<ul style="list-style-type: none"> 作品全体において、多くの場面で調整されているが、違和感がある部分もある。 作品全体の構成、処理はバラエティーに富んでいるが、平淡に感じられる部分が多少ある。 色彩的に豊かであり、音楽との整合性も感じられるが、違和感がある部分もある。 場面ごとに聴かせ所や見せ場があり、効果が強調されているが、効果が限定的である。 多くの場面で継続して平均以上の効果を発揮している部分があり、観客を引き付ける事もあるが、それぞれが繋がらない。 随所に独創的な解釈、処理が感じられるが、それが直接効果に繋がらない場合も少しある。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏・演技者による作品の理解は充分で、観客とのコミュニケーションは高いが、伝わりきらない場合がある。 多くの場面で演奏・演技者の集中力は安定しているが、作品の意図が継続的に伝わらない場合もある。 演奏・演技者による感情表現は広く、観客が心を動かされる場面も少なくないが、伝わらない場合もある。 多くの場面で演奏・演技者のミュージシャンシップやショーマンシップは発揮されているが、観客を感動させられない場合もある。
段階3	<ul style="list-style-type: none"> 作品全体において調整されている様に感じられるが、調整が不足している部分も少なくない。 作品全体の構成、処理にバラエティーも感じられるが、平淡に感じられる部分もある。 やや、全体的な色彩が単調で、音楽との整合性も不足している。 聴かせ所や見せ場と感じられる部分もあるが、十分な効果を出し得てはいない。 効果的と思える部分はあるが、断片的であり、長続きしない場合が多い。 独創的な解釈、処理がなされていると感じられる部分があるが、多くはない。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏・演技者による作品の理解は得られているようだが、観客とのコミュニケーションは十分ではない。 ある程度、演奏・演技者の集中力を感じる部分もあるが、作品の意図が継続的に伝わらない。 演奏・演技者は作品が持つ感情表現は感じられるが、観客の感情を操作するには至らない。 ある程度、演奏・演技者のミュージシャンシップやショーマンシップは発揮されているが、観客を感動させられない場合もある。
段階2	<ul style="list-style-type: none"> 作品全体において調整されている部分が不足しており、違和感も多く感じられる。 作品全体の構成、処理、色彩が平坦に感じられる。 聴かせ所や見せ場と感じられる部分が不足しており、その多くが効果を発揮していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏・演技者による作品の理解は不足しており、観客とのコミュニケーションも不十分である。 演奏・演技者の集中力が不足しており、作品の意図が伝わらない。 演奏・演技者による感情表現はあまり感じられない。
段階1	<ul style="list-style-type: none"> 作品全体が調整されている様には感じられず、雑然としている。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏演技者による作品の理解は未熟で、観客に対する意識も希薄である。